

第4回 「金沢市の男女共同参画に関する意識についてのアンケート」の調査結果

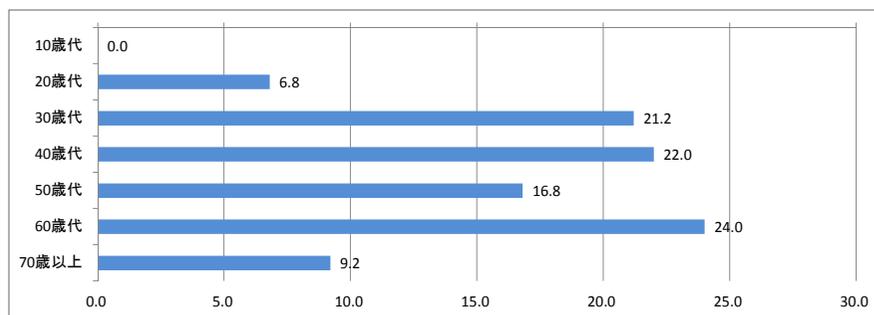
【アンケート実施期間】 平成28年9月5日～平成28年9月18日

【アンケートの目的】

現在、少子高齢化の進行や、雇用環境の変化など、社会情勢が急速に変化している中で、豊かで活力ある社会を築くためには、男性も女性もすべての個人が喜びや責任を分かち合いその個性や能力を発揮できる男女共同参画社会の実現が重要です。この調査は、男女共同参画についてのお考えを皆様にお尋ねし、今後の男女共同参画施策を推進するうえでの参考とさせていただきます。

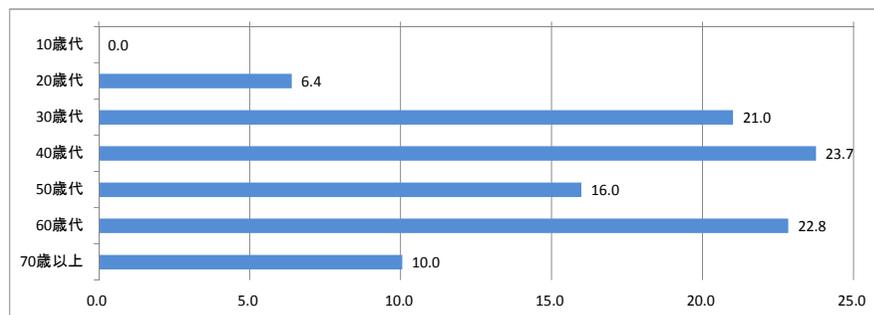
【対象者数】 250名

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	17	6.8
30歳代	53	21.2
40歳代	55	22.0
50歳代	42	16.8
60歳代	60	24.0
70歳以上	23	9.2
計	250	100.0



【回答者数】 219名

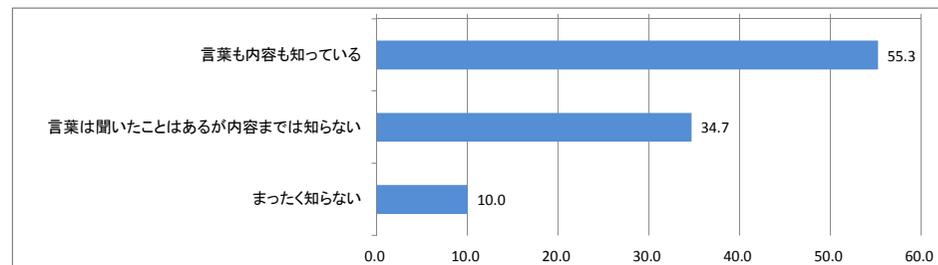
内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	14	6.4
30歳代	46	21.0
40歳代	52	23.7
50歳代	35	16.0
60歳代	50	22.8
70歳以上	22	10.0
計	219	100.0



【回答率】 87.6%

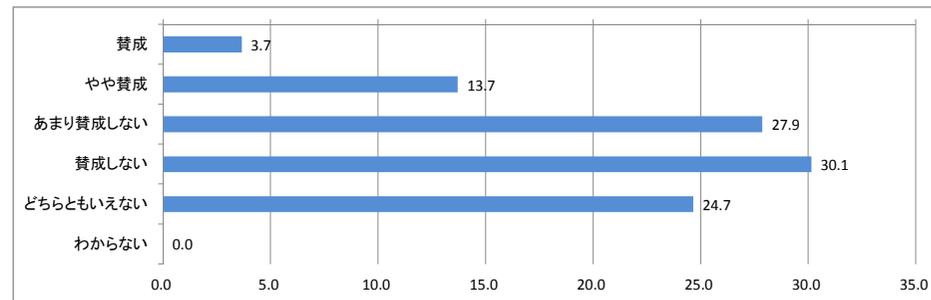
問1 「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。(選択は1つのみ)

回答	人数	%
言葉も内容も知っている	121	55.3
言葉は聞いたことはあるが内容までは知らない	76	34.7
まったく知らない	22	10.0



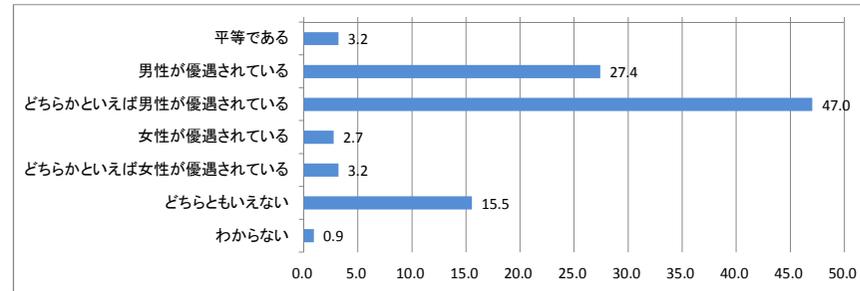
問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(選択は1つのみ)

回答	人数	%
賛成	8	3.7
やや賛成	30	13.7
あまり賛成しない	61	27.9
賛成しない	66	30.1
どちらともいえない	54	24.7
わからない	0	0.0



問3 現在の日本において、社会全体で男女の地位は平等になっていると思いますか。（選択は1つのみ）

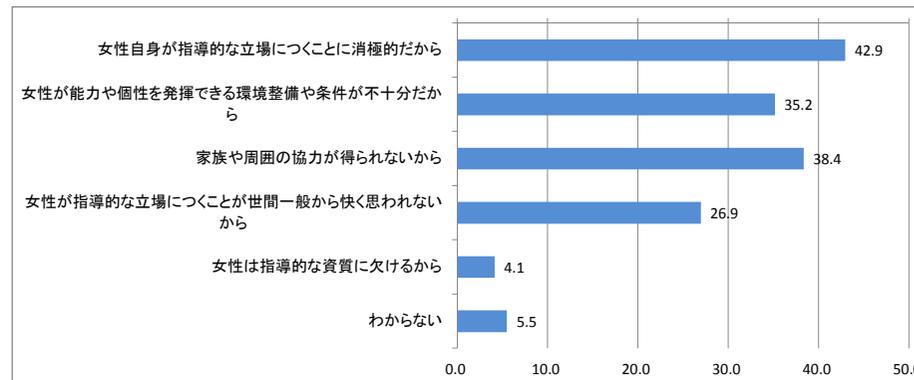
回答	人数	%
平等である	7	3.2
男性が優遇されている	60	27.4
どちらかといえば男性が優遇されている	103	47.0
女性が優遇されている	6	2.7
どちらかといえば女性が優遇されている	7	3.2
どちらともいえない	34	15.5
わからない	2	0.9



問4 地域における活動において、女性が町内会長やPTA会長などの指導的立場につくことは少ないが現状ですが、主な理由は何だと思えますか。（選択は2つまで）

回答	人数	%
女性自身が指導的な立場につくことに消極的だから	94	42.9
女性が能力や個性を發揮できる環境整備や条件が不十分だから	77	35.2
家族や周囲の協力が得られないから	84	38.4
女性が指導的な立場につくことが世間一般から快く思われないから	59	26.9
女性は指導的な資質に欠けるから	9	4.1
わからない	12	5.5
その他	12	5.5

※割合の分母は回答者数（219人）



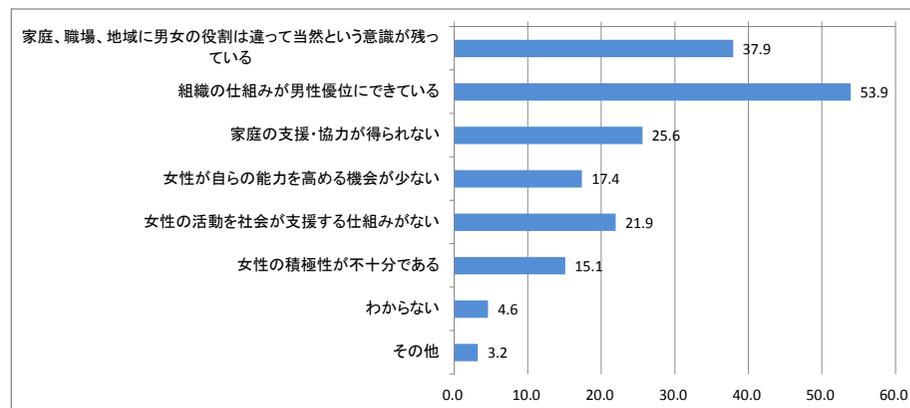
その他のご回答

- ・男性がつくことが一般的と思われるから
- ・やりたくても、家事などで時間がとれない状況にあるから
- ・町会の長老達が独断で物事を決める為
- ・女性の場合社会を冷静に判断したり、社会的な視野が狭いと感じます
- ・男性は就職したときから給料面、待遇面で安定しているので、すべての行事に参加しやすく家庭より行事を優先し率先しやすい
- ・男性も女性もある方向で欠点はある、うまく融合するには時間とお互いの努力が必要
- ・同性からの賛同を得にくいから
- ・これから増える。過渡的段階のため
- ・女性が面倒な事を男性に押し付けているから
- ・家事等多忙
- ・昔から変わっていないから
- ・口やかましい 年配者がいるから

問5 政策の企画、方針決定過程に女性が進出していない、主な理由は何だと思いますか。（選択は2つまで）

回答	人数	%
家庭、職場、地域に男女の役割は違って当然という意識が残っている	83	37.9
組織の仕組みが男性優位にできている	118	53.9
家庭の支援・協力が得られない	56	25.6
女性が自らの能力を高める機会が少ない	38	17.4
女性の活動を社会が支援する仕組みがない	48	21.9
女性の積極性が不十分である	33	15.1
わからない	10	4.6
その他	7	3.2

※割合の分母は回答者数（219人）

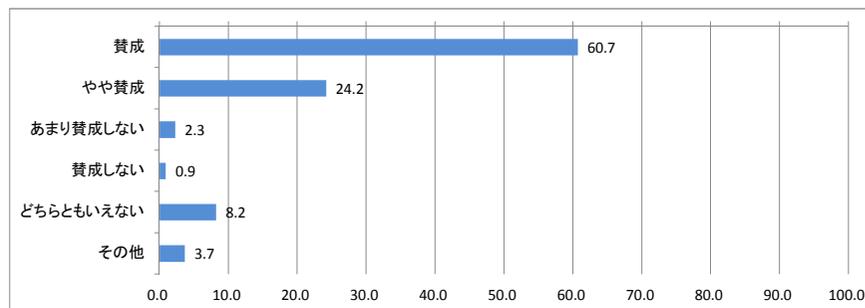


その他のご回答

- ・男女共に子育てを重視する時間が必要
- ・男性が子供見て家事もすべてこなさないから
- ・能力不足
- ・女性の意識が低い、男性に押し付けて余計なことはやらないという意識が強く、女性は自らの利益になることしかしない
- ・生理的機能に於いて男女は同じではない、各々の役割と機能があるはずなのに、なぜ、男女を簡単に同じにする必要があるのか不明
- ・過渡的段階のため、これから改善
- ・男性の理解がない

問6 職場において女性が管理職に昇進することについてどう思いますか。（選択は1つのみ）

回答	人数	%
賛成	133	60.7
やや賛成	53	24.2
あまり賛成しない	5	2.3
賛成しない	2	0.9
どちらともいえない	18	8.2
その他	8	3.7



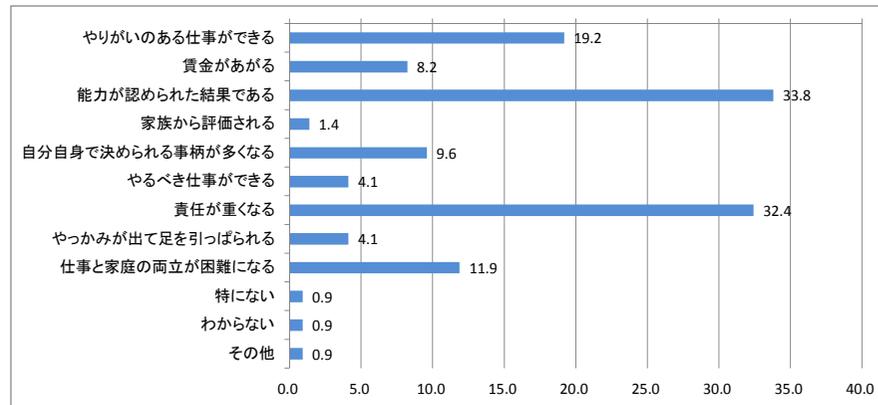
その他のご回答

- ・本人次第
- ・性別に関係なく能力があるものが昇進すればよい。
- ・賛成するが、残念だが現在は意識レベルが低い人が多い
- ・能力のある女性が昇進するのは賛成だが、女性ということが強く重視され昇進することには反対
- ・子供はその両親によって育てて欲しい
- ・性別は関係なく、能力で決まること
- ・能力次第
- ・能力があればよし

問7 職場において管理職に昇進することについてどのようなイメージをもっていますか。(選択は1つのみ)

回答	人数	%
やりがいのある仕事ができる	42	19.2
賃金があがる	18	8.2
能力が認められた結果である	74	33.8
家族から評価される	3	1.4
自分自身で決められる事柄が多くなる	21	9.6
やるべき仕事ができる	9	4.1
責任が重くなる	71	32.4
やっかみが出て足を引っぱられる	9	4.1
仕事と家庭の両立が困難になる	26	11.9
特にない	2	0.9
わからない	2	0.9
その他	2	0.9

※割合の分母は回答者数(219人)重複回答あり



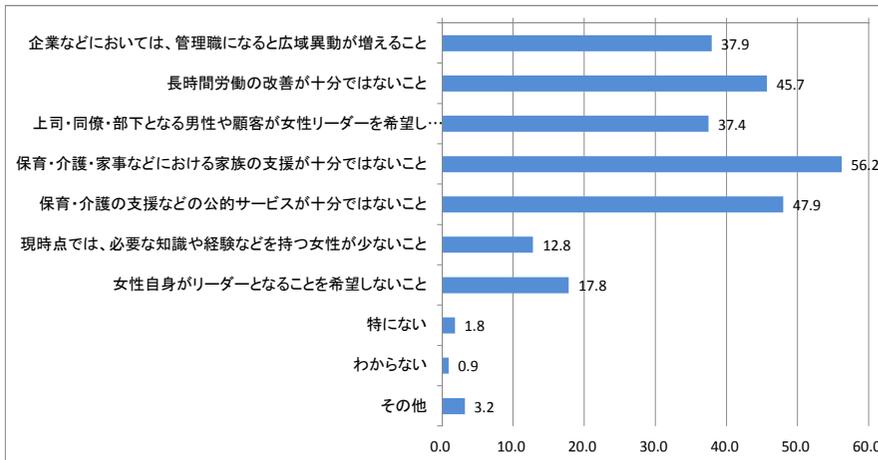
その他のご回答

- ・仕事と子育てを天秤にかけて考えて欲しい
- ・組織の利益を守る責任がある

問8 政治・経済・地域等の各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思えますか。(選択はいくつでも)

回答	人数	%
企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること	83	37.9
長時間労働の改善が十分ではないこと	100	45.7
上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと	82	37.4
保育・介護・家事などにおける家族の支援が十分ではないこと	123	56.2
保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと	105	47.9
現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと	28	12.8
女性自身がリーダーとなることを希望しないこと	39	17.8
特にない	4	1.8
わからない	2	0.9
その他	7	3.2

※割合の分母は回答者数(219人)



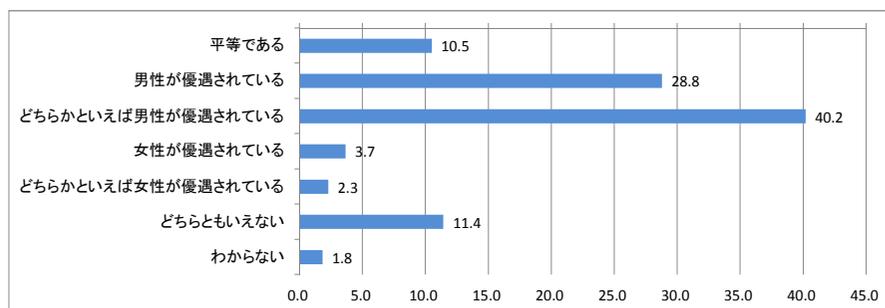
その他のご回答

- ・大事な子供の教育を第三者に委ねてまともに愛情を受けるとは思えない
- ・残念だが現在は意識レベルが低い人が多い
- ・金銭的サポート
- ・女性自身が育児に関わりたいとも思っているのに、両立が難しい(他の人に担って貰いたいとは思っていない)
- ・両親、子供にとって育児はその時だけの体験
- ・女性蔑視の意識がまだまだ多い
- ・上記の項目のほとんどが当てはまる

問9 職場において、全体的に男女の地位は平等になっていると思いますか。（選択は1つのみ）

回答	人数	%
平等である	23	10.5
男性が優遇されている	63	28.8
どちらかといえば男性が優遇されている	88	40.2
女性が優遇されている	8	3.7
どちらかといえば女性が優遇されている	5	2.3
どちらともいえない	25	11.4
わからない	4	1.8

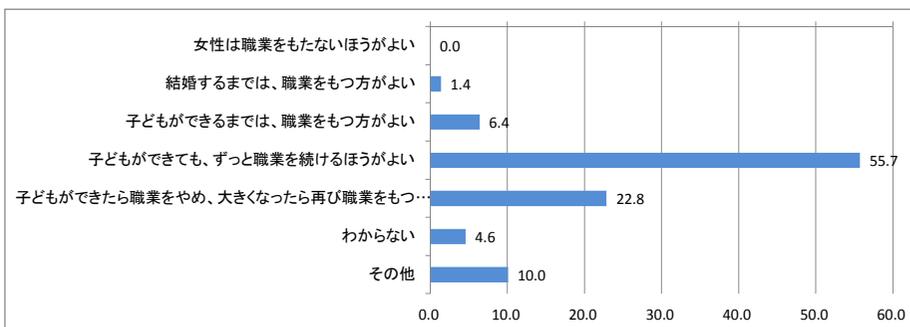
※割合の分母は回答者数（219人、未回答3人）



問10 一般的に女性が職業をもつことについてどうお考えですか。（選択は1つのみ）

回答	人数	%
女性は職業をもたないほうがよい	0	0.0
結婚するまでは、職業をもつ方がよい	3	1.4
子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	14	6.4
子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい	122	55.7
子どもができれば職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい	50	22.8
わからない	10	4.6
その他	22	10.0

※割合の分母は回答者数（219人、複数回答あり）



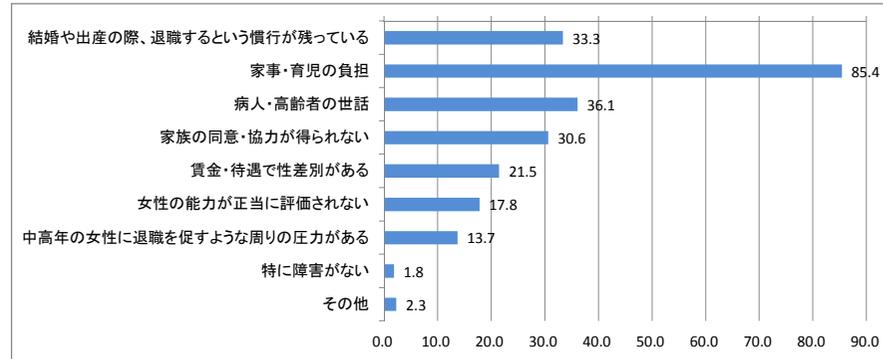
その他のご回答

- ・ 1人の方が育児になっても仕事が継続出来るシステム作りが必要
- ・ サポート環境が整えば、ずっと続けるほうがよい
- ・ 「男性」が職業をもつことについて、とは質問されないことが疑問
- ・ 人それぞれに置かれた状況にもよる
- ・ その時の家計の状況でかわると思う
- ・ ただし男性にも当てはまる
- ・ 育児と両立できるのなら続けた方がいいが、子供を第一に考えて欲しい（男性も同じ）
- ・ 職に就きたい人や家庭で家事等を完全にこなしたい人などいろんな人がいて当然
- ・ 独身でも結婚しても、子供がいても、どこでも働ける仕事をしていればいい、女性こそ手に職を持っていた方がいい
- ・ 就業することも離職することも、その個人の考え方であり、一律にかくあるべしと決めつけない
- ・ 女性も男性も職業を持つ持たない自由であるべきで、男女が平等に働かなければいけないのではなく、どちらかが働くことも自由
- ・ 本人の意志を尊重したらよい
- ・ 職業や自身の環境などの条件により異なる
- ・ ライフスタイルは個別の問題
- ・ 条件整備が不可欠である
- ・ どの選択も選べる社会になってほしい
- ・ 賛成
- ・ その人その人の価値観による
- ・ 本人の意思で決めればよい
- ・ その質問自体に不平等を感じる
- ・ 一概に言えることではない
- ・ 女性本人の意思を尊重

問11 女性が職業を続けていく上では、どんな障害があると思いますか。（選択は3つまで）

回答	人数	%
結婚や出産の際、退職するという慣行が残っている	73	33.3
家事・育児の負担	187	85.4
病人・高齢者の世話	79	36.1
家族の同意・協力が得られない	67	30.6
賃金・待遇で性差別がある	47	21.5
女性の能力が正當に評価されない	39	17.8
中高年の女性に退職を促すような周りの圧力がある	30	13.7
特に障害がない	4	1.8
その他	5	2.3

※割合の分母は回答者数（219人）



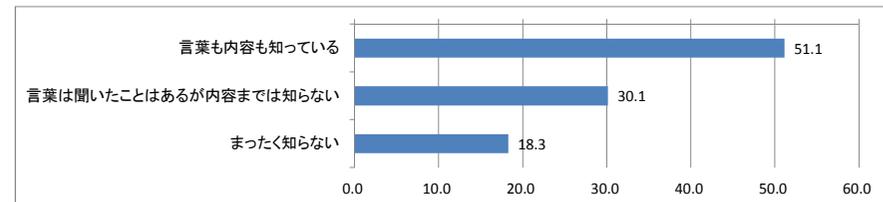
その他のご回答

- ・能力がある人が両立出来る環境
- ・上記の項目のほとんどが当てはまると思う
- ・出産・育児などの職場の理解
- ・育児は女性という考えを持つ男性
- ・男性が働くことは無条件に当たり前という前提でしか女性の生き方を選べない

問12 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」という言葉を知っていますか。（選択は1つのみ）

回答	人数	%
言葉も内容も知っている	112	51.1
言葉は聞いたことはあるが内容までは知らない	66	30.1
まったく知らない	40	18.3

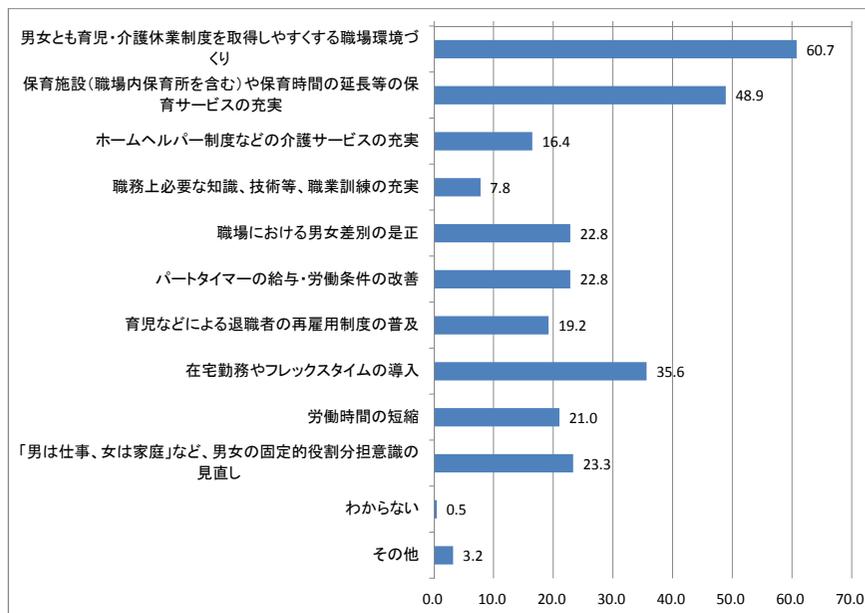
※割合の分母は回答者数（219人、未回答1人）



問13 男性も女性もともに仕事と家庭生活の両立をしていくためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。（選択は3つまで）

回答	人数	%
男女とも育児・介護休業制度を取得しやすくする職場環境づくり	133	60.7
保育施設（職場内保育所を含む）や保育時間の延長等の保育サービスの充実	107	48.9
ホームヘルパー制度などの介護サービスの充実	36	16.4
職務上必要な知識、技術等、職業訓練の充実	17	7.8
職場における男女差別の是正	50	22.8
パートタイマーの給与・労働条件の改善	50	22.8
育児などによる退職者の再雇用制度の普及	42	19.2
在宅勤務やフレックスタイムの導入	78	35.6
労働時間の短縮	46	21.0
「男は仕事、女は家庭」など、男女の固定的役割分担意識の見直し	51	23.3
わからない	1	0.5
その他	7	3.2

※割合の分母は回答者数（219人）



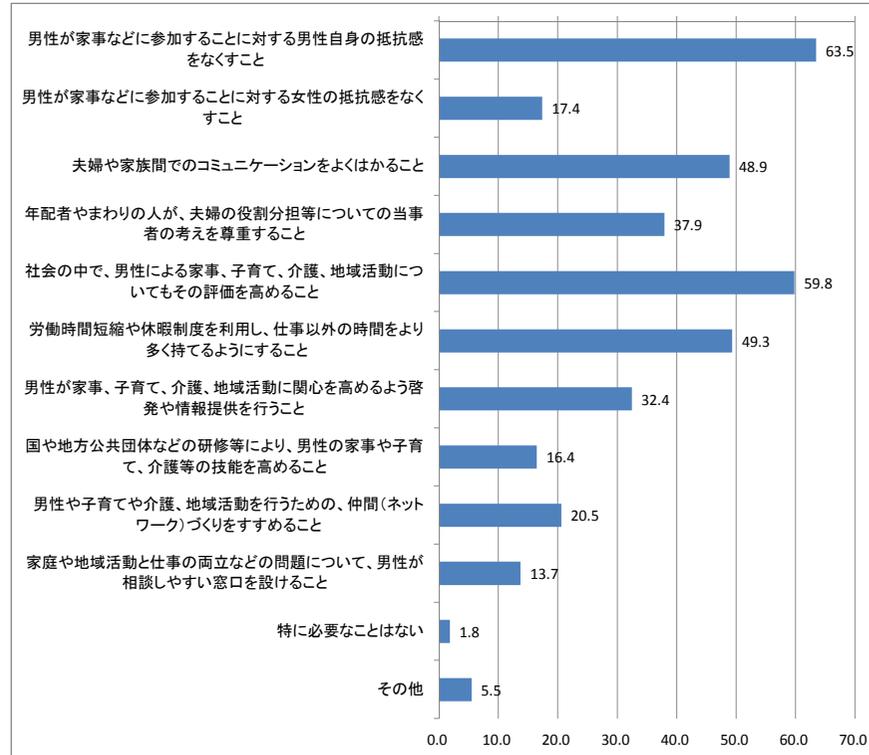
その他のご回答

- ・ 小学校低学年の子どもを預けられるサービスの拡大
- ・ 男性も労働時間が長すぎる
- ・ イクボス増加
- ・ 子供が体調悪い時などに休みやすい社会、預かってもらえる環境
- ・ 上記の項目のほとんどがあてはまる
- ・ 両立は無理だ
- ・ 育児はしたいが出来ない、育児したくないから仕事するとはおおきな違いがある

問14 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。（選択はいくつでも）

回答	人数	%
男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	139	63.5
男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	38	17.4
夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	107	48.9
年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考えを尊重すること	83	37.9
社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること	131	59.8
労働時間短縮や休暇制度を利用し、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	108	49.3
男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと	71	32.4
国や地方公共団体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること	36	16.4
男性や子育てや介護、地域活動を行うための、仲間（ネットワーク）づくりをすすめること	45	20.5
家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	30	13.7
特に必要なことはない	4	1.8
その他	12	5.5

※割合の分母は回答者数（219人）



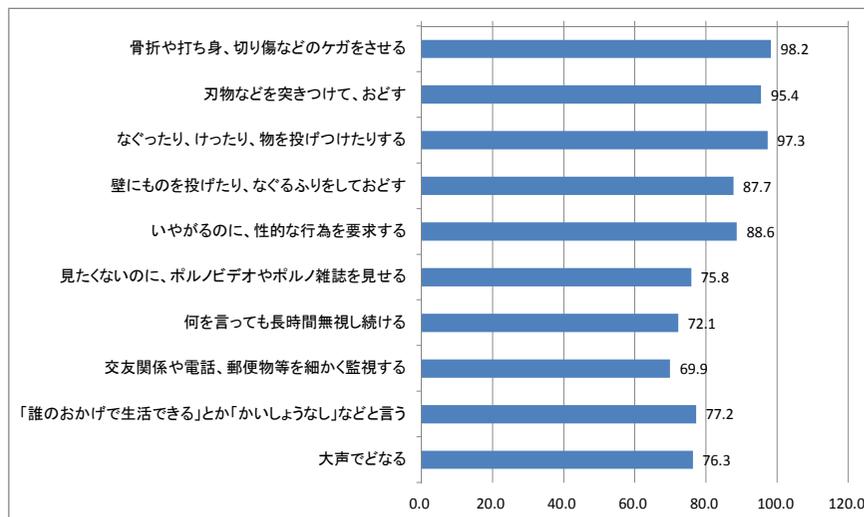
その他のご回答

- ・男女平等は学校教育から、社会全体の時間外労働が長すぎる
- ・男性に過酷な労働や単身赴任を伴う人事異動を集中させない
- ・定時退社をよく思わない日本の会社の体質改善
- ・このような質問を 当たり前にする事が当然だと思える社会があるから
- ・上記の項目のほとんどがあてはまる
- ・ 各々の夫婦のあり方、子育てを尊重する
- ・ ノー飲み会、ノーパチンコデーなど
- ・ 啓蒙活動など、男性の意識改革が重要
- ・ 労働時間の短縮に伴う収入低下を抑える
- ・ 職場の理解
- ・ 働きすぎで時間がない
- ・ 女性が男性よりも稼げること

問15 次のようなことが配偶者や交際相手など、親密な関係にある者の間で行われた場合それを暴力だと思いますか。（選択はいくつでも）

回答	人数	%
骨折や打ち身、切り傷などのケガをさせる	215	98.2
刃物などを突きつけて、おどす	209	95.4
なぐったり、けったり、物を投げつけたりする	213	97.3
壁にものを投げたり、なぐるふりをしておどす	192	87.7
いやがるのに、性的な行為を要求する	194	88.6
見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	166	75.8
何を言っても長時間無視し続ける	158	72.1
交友関係や電話、郵便物等を細かく監視する	153	69.9
「誰のおかげで生活できる」とか「かいしようなし」などと言う	169	77.2
大声でどなる	167	76.3

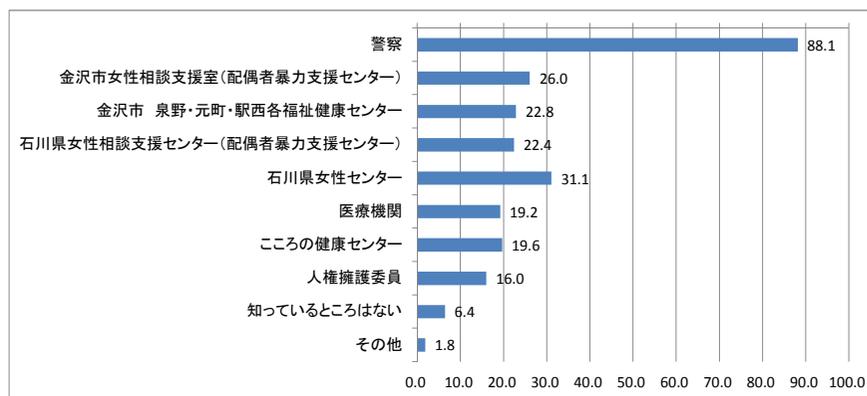
※割合の分母は回答者数（219人）



問16 配偶者や交際相手など、親密な関係にある人から暴力を受けたとき、相談機関であなたが知っているものはどれですか。（選択はいくつでも）

回答	人数	%
警察	193	88.1
金沢市女性相談支援室（配偶者暴力支援センター）	57	26.0
金沢市 泉野・元町・駅西各福祉健康センター	50	22.8
石川県女性相談支援センター（配偶者暴力支援センター）	49	22.4
石川県女性センター	68	31.1
医療機関	42	19.2
こころの健康センター	43	19.6
人権擁護委員	35	16.0
知っているところはない	14	6.4
その他	4	1.8

※割合の分母は回答者数（219人）



その他のご回答

- ・お互いの言い分を理解して仲裁するのは容易ではない
- ・上記の項目のほとんどがあてはまる

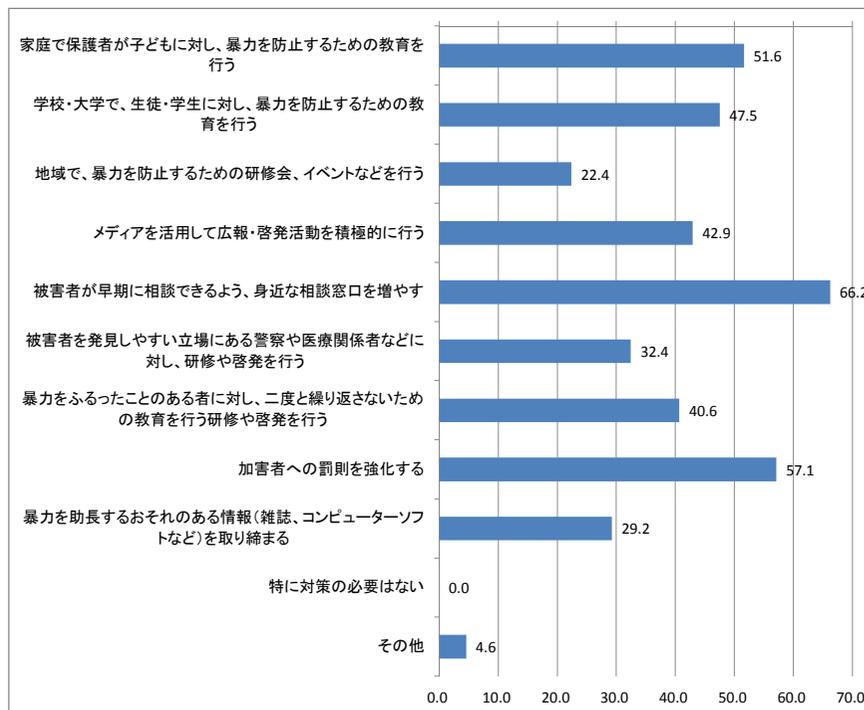
- ・生保等加入者に案内されている電話相談

- ・会社提携の民間の相談機関

問17 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。（選択はいくつでも）

回答	人数	%
家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う	113	51.6
学校・大学で、生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う	104	47.5
地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	49	22.4
メディアを活用して広報・啓発活動を積極的に行う	94	42.9
被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	145	66.2
被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	71	32.4
暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う研修や啓発を行う	89	40.6
加害者への罰則を強化する	125	57.1
暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、コンピューターソフトなど)を取り締まる	64	29.2
特に対策の必要はない	0	0.0
その他	10	4.6

※割合の分母は回答者数（219人）



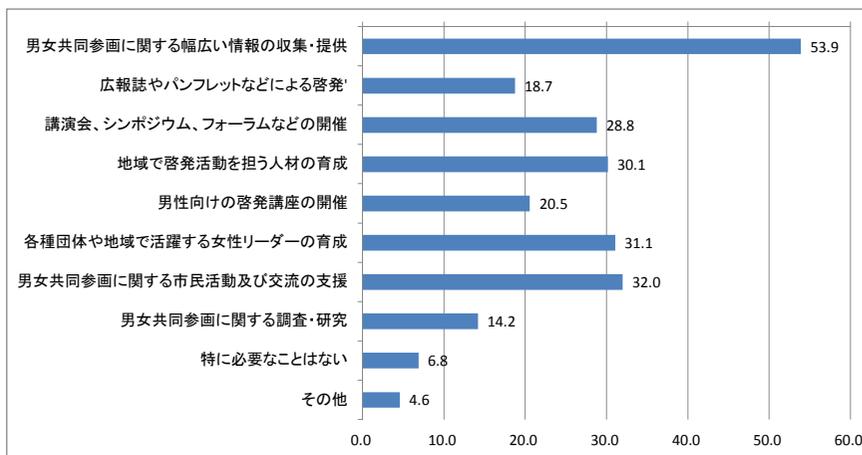
その他のご回答

- ・ 冷静に考えられる人間育成は教育でも必要
- ・ 被害者加害者ともに、カウンセリングが受けられるようにする
- ・ 真の被害者を助けられる制度
- ・ 家庭での教育の前に、家庭でそのような事態が起きないよう円満な家庭を築くのが一番
- ・ 企業で暴力を防止するための教育を行う
- ・ お互いがしっかりコミュニケーションする
- ・ 男女平等を教える事。暴力だけでなく
- ・ 世の中にストレスが多すぎる
- ・ 経済環境、労働環境の改善
- ・ 刑事罰による見せしめ

問18 男女共同参画推進拠点としての役割を持つ、金沢市女性センターに何を期待しますか。（選択は3つまで）

回答	人数	%
男女共同参画に関する幅広い情報の収集・提供	118	53.9
広報誌やパンフレットなどによる啓発	41	18.7
講演会、シンポジウム、フォーラムなどの開催	63	28.8
地域で啓発活動を担う人材の育成	66	30.1
男性向けの啓発講座の開催	45	20.5
各種団体や地域で活躍する女性リーダーの育成	68	31.1
男女共同参画に関する市民活動及び交流の支援	70	32.0
男女共同参画に関する調査・研究	31	14.2
特に必要なことはない	15	6.8
その他	10	4.6

※割合の分母は回答者数（219人）



その他のご回答

- ・現状で十分。あとは個人個人の気持ちの持ち方にかかっている
- ・相談者の高レベルな教育
- ・有職女性や雇用希望の女性へのサポートのみならず主婦専業女性も交えて女性の生き方を考える機会を与える
- ・自分自身が積極的に参加したりこのことについてあまり考えないので期待はない
- ・考え方が、ややもすれば必要以上になる
- ・上記の項目のほとんどが当てはまる
- ・何も期待しない
- ・相談窓口

問19 金沢市の男女共同参画の取り組みについてご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

まだまだ、世間全体が、女性がトップに立つという流れになっていないと感じる。
あまり背伸びしないで分相応の対応が必要。時間がかかると思います。
子供が具合が悪くて保育園から呼び出しの場合大体は母親に連絡が来るようになっていいる。そういう場合でも男性側の職場に理解があればどンドン男性側にも協力して欲しい。子供を出産し、働くのに保育園に入れなければならない、でもその保育園が働いていなければ入り辛いというので現在私も頭を痛めている。子供をおんぶしながらできる仕事ってないものだろうか。職場の理解で短時間でも子供をおんぶしたまま働ける職場があってもいいのではとおもう。
産めよ増やせよ働けよと云う政治的の概念の押し付けの様な気がします。男が子供を産めない事実と人間としての成長には親から受ける愛情が心身を健康に育つと云う生物学的事実をゆがめていること自体が問題ではないでしょうか？男は男らしく、種の保存と保護、女性は次世代を育成すると云う動かしがたい事実に対する認識不足でしかないでしょう。現在、心的問題で事件が多く起きるのはアメリカの犯罪例を見れば容易に予想出来ることなのに、なぜアメリカに追随する必要がありますか？男女平等に働くことを求めれば、結婚したいとは思わないでしょう。その様な事実を金沢市は冷静に見極めて、独自対応が望ましいです。
事業が先走っても、人の意識「世間の一般」を変えるのは難しい。シンポジウムやフォーラムの開催はとても良いと思う、進めてほしいが、意識がなければ足を運ぶこともない。世代が交代して世間が変わっていく流れを味方に世間が変わってほしいと思う。
公民館向けの広報誌の発行
国、県とも連携し男女共同参画の妨げとなる子育て、介護について解決すべき社会制度作りが望まれる。そうした中、人口の四分の一を超えた65歳以上男女の社会や家庭での参画機会増、役割の見直し等が重要課題と思われる。
特に女性の場合、男女共同参画に積極的な人には、その機会を男女平等にすべきであるが、家庭の事情等によりこれを好まない人もいることは事実であるから、一律に議論することには無理があると思われる。個々を対象とした課題になることが多いとも考える。不本意な男女の「差別」は絶対許すことがあってはならない。
そもそも男女は同じではないので、役割分担が上手に行えるようになる雇用のシステム作り。教育としての保育は必要ですが、働くための保育は必要がないと思います。、両親でしっかり生活出来る様な環境になるまで国、地方自治の力が試されると思います。
1975年国連婦人の10年アクションプランの決議を受け、総理府～都道府県に窓口設定。石川県では、県民課が担当。「第1回県婦人白書」を刊行。関連事業見直しの参考とした。婦人団体代表者で海外事情視察等(アメリカ・カナダ・中国)中国は毛沢東の時代で、天の半分は女性が支える。という格言があった。しかし、十人一色の時代だった。十数年経て、三社町、県婦人会館の名称が女性会館になり、女性管理職も徐々に増えている。いずれにしても、男女共同参画は行政の全部局に関連していることを、改めて考えたい。なお、民間企業の理解を深める施策も必要か。
家庭での役割分担は、男性側の意欲と、勤務先の理解が不可欠だと思う。勤務先にてそのような講師のお話を聞く機会があればよいが、実際の民間企業では時間も人も割けないので難しいのかもしれない。
なんとなくですが、社会・家庭の問題を含め、いろいろと我慢している女性は多いとおもいます。相談窓口や電話では、やはり女性の方が出るほうが話しやすいとおもいます。一方で、男性の方も、金銭面のプレッシャーなどのストレスもあるのかなとおもいます。プライドが高い男性ほど相談しない傾向があるのでとおもいますので、そのような方々も来やすいセミナーなどあるとよいのかもとおもいます。
金沢市の職員の男女共同参画の実態を教えてください。
男女平等と言われながらも未だ女性は社会的地位が低いと思う。子育てや介護等でどうしても女性の負担が多い分職務優先にはできない。職場復帰がしやすい環境や支援が充実していると助かるし、子育てと仕事の両立ができる職場からの支援などがあるといいとおもう。
女性として特別な見方や優遇までは不要と思うが、性差別なく男女どちらも公正に見ることが大切と思う。その中で非力な部分や気持ちの優しい部分、等の特性を考えて参画する機会を活用してもらおう。
まず、市民の声を代表する議会の女性割合を40%以上とかの条例を制定する。至急に。
金沢市は全国的にみても女性の活動が活発ですが、一部の人がアチコチで積極的な活動をしていることが目立ちがちだと思います。女性一人ひとりが、もっと参加できるよう、男性が工夫と努力をすべきではないでしょうか。
もっと啓発活動に力を入れてほしい。
男女共同参画という言葉自体が意味不明瞭であり、また抵抗感がある。この世は、男女が共存しているが、その持てる特性がある。まずは、その特性を把握し、且つ慣習や先例だけに縛られない活動の在り方を構築すべきでしょう。シングルマザーを推奨・奨励する風潮には断固異議を唱える。
男女それぞれの特性・個々の能力を生かし有意義に活動できることが望ましいと思います。
市が率先して女性のリーダー、管理職の登用率を上げる。民間企業のリーダー育成のカリキュラムの作成と支援。
大いに進めるべきと思っています。

<p>女性が出産や育児で退職することがあっても、数年後に本人の希望に応じてスムーズに職場復帰出来る仕組みがもっとあったらよいと思う。短時間勤務や在宅勤務でワークシェア出来る仕組みを充実させてほしい。</p>
<p>市が男女共同参画の取り組みを行っているとは知らなかった。それくらい、取り組みが伝わってきていません。</p>
<p>正直、金沢市の取り組みについてなにも知りません。</p>
<p>様々な機会を通じて、より多くの広報活動を行うことで、市民の意識向上を図って欲しい。</p>
<p>職場、社会、家庭において、協力しあって、連携がしっかりとできてこそ、男女共同参画ができるのだと思います。そのためには、職場環境、国や地方自治体のサービスが必要だと思います。</p>
<p>女性が働くには、男性が今よりも家庭、介護、育児に参加することが不可欠ですが、男性の仕事のブラック化が改善しない限り、難しい状態。このままの状態では女性が男性並みに働こうとすると、子供や老人などの弱者に一番しわ寄せが行くと思う。女性の社会進出を進めるには、同時に男性の労働環境の改善を進めないといけない。特に北陸の地元企業はひどい状態です。</p>
<p>これは地域の課題というよりも国全体で方針・対応マニュアルを策定すべき事案であるように思います。</p>
<p>我が家は以前から男女共同です。家庭内暴力等は想像すらできません。</p>
<p>働くか、働かないかは個々の家庭の事情や希望により自由だが、働く意思がしっかりある者に対して、足元をみてる会社がある。会社にはマイナスな人間かもしれないが、きちんと雇用してもらえると助かる。言葉だけ先行して、男女対等な職場環境をつくるのは、沢山の障害がありすぎる。</p>
<p>女性の管理職をまず増やしてほしいです。大企業だけでなく中小企業にも女性の管理職をつくるよう促してほしいです。また女性は派遣・契約・パート社員として長年勤めるよう義務付けられ、賃金が上がっていません。女性の賃金を男性と同じぐらいにしてほしいです。また契約社員から正社員に登用される際に給料を下げるのがよくあります。これだと契約や派遣の方が給料がいいので、結局正社員を選べません。企業が社員にお金をなるべく払わないようにしているのです。是正をお願いしたいです。</p>
<p>男女共同参画と言われていますが、まだまだ社会の企業では認識の片寄った経営者が多いと思われます。なので、こう言う石頭な経営者を対象とした、市主催の経営者セミナーの様な対策を行ってほしいと思います。(もう、すでに行われているのかもしれませんが…)</p>
<p>もっと女性がゆっくりと子どもに向き合えるように、育児(手当が十分にある状態)で長くとれるようにしたい。</p>
<p>男女共同参画社会を市民、企業に周知を図り、今後の社会生活での重要性の理解を求める。</p>
<p>小学生の低学年からの定期的な教育と情報提供。共同参画に代わる分かり易い言葉の開発。</p>
<p>男女共同と言っても所詮、男女の体力、精神力、資質が違い、かといって現状のままでは先に進まず、より高度な研究機関を作るべきだと思う。</p>
<p>市民が気軽に参加出来る講演会や研修会をもっと増やす事より、意識の向上を図る。</p>
<p>ずいぶん情勢も変わり、当面、経過状況観察と思います。</p>
<p>まずは子育て支援が必要で望めば保育所に兄弟で利用できるようにするべきだ。アンケートでこういう意見が多くあればすぐ取り組んでほしい。</p>
<p>「男女共同参画」という言葉自体が堅苦しくわかりにくい。もっと親しみやすいネーミングの方がいいと思う。取り組みもわかりにくいと思う。時々「それってどこが共同参画なの？」って思う事があります。</p>
<p>活動内容を理解していないので、広報活動をしっかりするべきだと思います。</p>
<p>男は仕事女は家庭という意識は若い方はないのですが、親世代の方の意識改革が必要なのではないでしょうか？自分の息子が炊事や洗濯するのはみっともないとか恥ずかしい嫁は何してる等という声をよく聞きます。小学生の頃から男女共同参画についての勉強が必要だと思います。</p>
<p>昔に比べてかなり改善されているように感じています。</p>
<p>男性の立場にも配慮した活動をお願いします。</p>
<p>共同参画と言いつつ、女性にさらなる負担を求めているだけのように感じられる。女性は仕事もし、家事は当然こなし、育児も介護も担わなければならないのか？男性が家事等を行うことは、同様に促進されるべきではないか？また、女性を働かせたいならば、男性主体／男性の論理で築かれてきた職場ルールの変更もあってしかるべきではないか。</p>
<p>金沢市がどのような取り組みをしているかは知らないが育児や介護のほとんどを女性が担っているという現実において周囲や職場の協力は欠かせない。金沢市のハードとソフトをフル活用して全国的に金沢モデルとなるような指針や方針を打ち出して欲しい。</p>
<p>議員、管理職に女性が増えるのは良いことだが、増え過ぎても問題。バランスが大事。</p>
<p>どんな活動をしているのか知らないのでもなんとも言えない。</p>

セミナーの開催をもっと増やす必要があるのではないですか。
我が子たちの将来は共働きが主流になり、男女共に家事育児も分担して出来るように、育てていくことが親の務めと思っています。
長時間労働の是正。金沢都市圏の賃金の向上。
実績として企業における女性管理者が少ないことは問題である。ただし、女性というだけで、意識・能力が不足する者を時代の流れを背景に優遇して昇進させることについては、反発を感じる。また、女性は、単身赴任を伴う人事異動を求められず、昇進していくことについて、同一賃金の元においては違和感を感じる。
男性が参加できる(託児つき、無料、低料金)のイベントで、父親の意識改革と、母親が自由になれる時間を作ってください。残業を減らして、夕方には帰ってくるように国を挙げて対策をとってほしい。どうしても、夕方保育所に行って、夕飯作ってごはん食べさせて、お風呂入れるのは母親の仕事でしょ?という意識が社会には根強く残っています。父親が帰ってくる時間が9時とか異常だと思います。何もできません。
女性が多数を占める所で、女性の育児・子育てを優遇するあまりその分の負担(残業・休日出勤・異動)が男性(子育てあり)にきています。ここで働く女性にはいいが、男性の家庭には厳しいものがある。「男女平等」への過渡期であると考えますが、丁寧な対処は必要と考えます。
男性が家庭や地域活動できるようにはまず、会社を定時で帰れるようにするのが一番である。無償の残業が多く、自分の親世代と同じ働き方を半世紀過ぎた今でも続けているのが異常だと思う。仕事も育児も家事も、育児が終わったら介護と、女性をこき使うような世の中になってきている。もはや、自分の子どもを自分の手で育てるのが不可能な環境で、専業主婦が贅沢な仕事と目されているのが現状。こんな中で、男女ともに切羽詰まっているから、いじめやネットでの執拗な攻撃につながっているように感じている。もっと余裕を持てる社会作りが必要で、そうなるように男女共同参画に取り組んでほしい。
人それぞれが、自分自身をもって尚且つ、集団的にも良い在り方でできるようにお互いを認め合って生きて行ける社会形成になればよいと思います。
そもそもどういう取り組みをしているのか知らない。
取り組みがあること自体知らなかった。もっと、身近なところで啓発活動を行うべき。
男女共に個性や能力が発揮できる社会作りが大切だと思います。そのためには、次世代を担う若い人たちに結婚し子供を育てやすい環境を整えることが必要です。それが最優先です。そうすれば男女共同参画も少しずつですが進むと思います。
そもそも何をやっているのか知らない。広報不足。
金沢市が男女共同参画の取り組みを実施していることを知らないので意見できない。
男女共同参画について特に興味を持ったことはありませんでした。このアンケートを機会に少し勉強してみます。
もっと予算をつけ、先進的な事例に奨励金をだしインセンティブが働くようにする。学生が就活時に、企業の労働条件をチェックしやすくすることで企業間の競争を促す。
まず、男女平等が行き過ぎて逆に男性差別になっている点もある。例えば女性専用車両など。また、現状管理職などに就く女性の割合が低いのは確かだが、単純に女性管理職の割合を引き上げることは男性差別と言えるのではないか。女性の能力が男性と同程度であれば、最終的に女性が優遇されることも許容できると思う。女性の能力が男性に比べ低いというのであれば、それは職場をはじめ社会全体が女性の能力向上に対して消極的であるためだと思う。女性は男性に対して(肉体的以外で)決定的に劣る部分はないと思うし、幼少期からの教育を含めた社会全体の女性に対する考え方によると思う。確かに女性は結婚や出産を機に退職するケースが多く、企業が女性への投資を避ける一因になっている。保育所の整備や保育料の補助など、特に出産に関して、安心して子どもをつくれる、また出産後に安心して職場復帰できるような環境の整備が重要ではないか。待機児童の問題や主に未認可の保育所での事件を多く耳にする中で、積極的に出産を考える世帯が増えていくとは考えられない。もちろんそのためには保育環境(施設や従業員)への投資が不可欠だが、将来の労働人口にも関わってくるため、投資する価値は十分あるのではないか。男性に限らず、家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するには、労働時間の短縮が不可欠だと思う。しかし、現状では労働時間の短縮にはその分収入の低下が伴うため、非正規雇用等による世帯収入や生涯賃金の低下が問題になっている現在、特に男性に関しては世帯における収入の大部分を占めるケースが多く、許容し難い部分がある。その点では、女性が積極的に働き、男性に負けない収入を得ることが期待でき、ある程度の世帯年収を確保できるという状況になれば、男性の家事、子育て等への参加も増えてくるのではないか。
女性が各事業等(地域活動)に、積極的に参加して欲しいが、中々参加する人がいなく、順番で出る人がほとんど。結果、同じ人が何年も続けば益々新しい人が出てくるのを阻害しているのでは。女性自身もっと参加する意思を、もって欲しいと思います。家庭内で話し合いが無い為、夫婦共外に目をむけないのでは。
お疲れさまです。男女の違いを把握し、適材適所に分担する管理職の人材選定が企業の繁栄を左右すると思います。慣例やしがらみに固持すると失敗すると思います。(主に民間企業)お役所に於いては 当たらず触らずを廃止すべきと思います。そのような人材は 再教育の場をもうけることを 望みます。全ては 国民のためという意識の元 活躍(ごく普通に)してほしいものです。
私は10年ほど海外で働いており、金沢に帰ってきて感じたこと、友人の話を聞いて感じたことは、やはり、地方の中小企業での男尊女卑がまだまだ残っていると感じる。今回の取り組みとやや違うが、特にマタハラ被害はよく聞く。男性上司からはもちろん、目上の女性(特に独身)からのマタハラ被害が顕著です。もちろん私も含め、友人も被害を訴えたことはありません。被害を訴える機関を知らない、訴えたところで改善されると思っていないからです。社会からは子供を産め、そして働けと言われ、母子ともに健康でいることは簡単ではないと思います。地方から出たことのない人間の意識改革が必要と感じます。また、田舎という理由か、女性が家事をするのが当たり前だという考えが根強い。男性の意識改革がない場合、女性はこれ以上の活躍は見込めない。せつかく石川県は男女就業率が高い地域でもあるので、さらに男性の意識向上があるとよりよい社会になると思います。
現在の金沢市の取り組みとその成果については全く知らない。

<p>今の心境は市役所封筒発信者を見て辟易状態。人権女性政策推進課しっかりして欲しい。年間計画を年度初期に立てて、その都度郵送に頼るのではなく市民が参加しやすい状態を目に見える形で構築する努力を。ホームページで周知、申込み受け付けを行う。私、一人に情報が来ても拡散するには、会合が無い時は費用負担を生じるのでどなたにも拡散していない。また、「女性の自立」をモットーに動いているので、男女共同参画は会の活動方針とは異なっているのも事実。話の前提「おままごと」をどううまく運営するかに感じます。世の中に単身者もいるんですよ。市役所職員の企画力は全国何位なのと思うくらいです。チラシ郵送頻度とイベント内容について吟味を願います。印刷物、郵送料に税金をかけすぎ。</p>
<p>会社の経営者を強制的に教育する事が必要。</p>
<p>地域においては、年配の人を中心にまだ男性優位の雰囲気が残っている。その中で男女共同参画社会の実現はむずかしい面があり、地域の世代交代が進まない困難ではないか。</p>
<p>よく女性センターを利用し出入りもしますが、十何年前から男女共同企画についてエレベーター内等に張り紙してありますが、未だに私の中では名前の先走りで、中身が何を目的に活動している組合なのかわからないのが正直なところ。</p>
<p>頑張るしかない。</p>
<p>中々難しいと思います。各家庭・職場で違うので。</p>
<p>女性の仕事の参加は賛成ですが、やはり時間の縛り(ブラック企業・低賃金)が多いのでそのソフト部分の強化が必要と思います。</p>
<p>男女共同参画事業が「男女共に(外で)働く」ことのみにとらわれており、「(勤める事が)一億総活躍」という前提であることに疑問を持ちます。男性は生まれながらに生き方に自由が少なく、大人になったら勤める、家業を継ぐ、など、人生の大半を決められている、多くの人がそういう人生だから、生き方に疑問を持たず、そういうもんだと大半は納得し、与えられた役を全うしようとする。これでよいのかと疑問を持った人や与えられた役割を全うしきれない人は、挫折組として批判されたり社会的に抹殺されたりする。男性こそ人生における自由の選択、生き方の解放を進めるべきだと思います。それに対し、女性の欲望たるやどこまで国を減ぼすのか(私は女性ですが)、といいたくなるばかりの女性優遇措置、逆差別、ひいては国の思うつぼの施策の数々、どうぞ見直してほしいです。女性を管理職に抜擢するために女性枠を設ける?自分の力で掴み取ろうと頑張っている女性にも、有能な男性にも失礼です。女性専用車両?もはや社会的弱者は男性なのではと思う事も多々あります。保育施設の充実?保育施設が足りないのは、働かなければ暮らしていけない人のみならず、自分のステータスばかり求めて子供はこの次という自己中女性、もしくは育児放棄予備軍ともいえる「子育てより仕事の方がまし、楽、お金ももらえるし、保育園にも預けられるし、何より両立している自分ってかっこいい。」という仕事も育児も何もしない女性がたくさんいるからです。特に後者はとても多く、家庭では「働いているから」といって何もせず、男性の育児や家事参加ばかり求め、職場では「子供の行事で」「子供が熱出して」といつも子供をだしに本腰を入れて仕事をせず。こんな後者の人々は、子供の授業参観にきては「久しぶり～、仕事が忙しくて～」とママ友とおしゃべりばかりで子供を見ず、買い物やお友達とのランチの約束としては「子供は保育園に預けるし～」と自由な時間も過ごし放題。同じ女性の中でも主婦専門者は「働いていないんだから」家事も育児も一人でこなし、授業参観では小さい子をおんぶして騒がせないように気を遣い、学校や地域の役員は仕事をしていないからという理由ですべて引き受け、登下校時の安全サポートなど、下の子をおんぶしながら地域の子供の安全を守るために黄色い旗を振ったりする。それでも小さい子供と公園を散歩していれば、地域の年配者に「働かないといかんよ」と説教をされたり。私は現在専業主婦の立場です。転勤族で落ち着かない環境であること、小さい子供がいるためその立場ですが、たくさんの専業の方々の苦労が今は見えます。もう少し主婦専門者が肩身の狭い思いをしなくてよい環境になるとよいと思います。外国からいらした留学生家族の方々は母親が研究者、父親が主夫、というスタイルの方も多く、「男が」「女が」ではなく「家族」という単位で物事を考え家族を大切に、そのために何が「今は」一番良いのか都度考えておられるように見えます。日本の施策は1985年の男女雇用機会均等法以降極端な方向性で右往左往しているように思います。女性と男性は人間的に平等ですが、性差を否定してはいけません。子供を産むことは女性しかできないのです。その意味にも立ち返るべきかと思えます。女性と男性は違って当たり前ですし、男、女という前に個人としての選択が尊重されるべきです。現在は、女性は産むだけ産んだら企業に戻れるようになってきており、仕事をつづけたくも続けられなかった女性には改善なのでしょうが、子供を産んで家庭で育てたいという選択が許されない社会になるのはいかかかと思えます。世界に誇れる街を目指す金沢市が、男女共同参画のジャンルでも、日本で、ではなく世界から注目される取り組みをぜひ行われることを期待しております。</p>
<p>まだまだ保守的、ネガティブな考え方が多いような気がします。男女に拘らず、人間として、もっとザックバランにそれぞれが活動できる明るい地域になれば良いと思います。</p>
<p>まず、仕事と家事、育児、介護等の両立できる、社会(職場)の環境づくりです、そして、育児等で一旦、離職した女性に対する支援の拡充です。</p>
<p>女性センターなど施設があることは知っているが何を具体的にやっているのか知っていたり、活用している市民は少数派だと思いますので存在価値をもっと周知させ市民に役立つ活動をうまく発信し続けてください。</p>
<p>長時間労働をしている社員がいる会社に、直接、改善するように働きかけてほしい。どのような会社で、どれくらいみなし労働をしている社員がいるのか、情報を公開してほしい。</p>
<p>金沢市が今までどのような取り組みをしてきたのか、はっきりと分からないので、まずは市民に分かり易く表現してほしい。</p>
<p>男女共同参画に関することに幅広い情報の提供、情報の収集、活動の交流等。</p>
<p>男女お互いが差なく日常生活が穏やかに笑顔で過ごせるよう、家庭や特に職場に提案チラシを配布する。</p>
<p>男女共同参画を推進する事で必要はないと思う。ただ男性の家事や育児、女性の管理職は偏見意識は持つべきではない。男女が持つそれぞれの特性を活かし能力や個性を尊重すべきである。</p>